



誰かに見せたい、恋文のまち ふたついき きみまちの里フォトコンテスト2022

入賞作品を紹介します



市では二ツ井地域の自然、行事、文化などの魅力のPRを目的にきみまちの里フォトコンテストを開催。66点(応募者数33人)の応募の中から最優秀賞や優秀賞などを審査会により決定しましたので、作品を紹介します。

入賞作品は、4月中旬まで二ツ井町庁舎に展示し、それ以降は道の駅ふたついきに展示するほか、市ホームページで見ることができます。

今年もフォトコンテストの開催を予定しています。詳細が決まり次第、広報のしろなどでお知らせしますので、ぜひ皆さんもご応募ください。

審査方法

テーマ性、地域性、メッセージ性、独創性を基準に、二ツ井きみまち商店会会長高橋大樹さんが審査員長を務め、ほか6人の審査員で審査を行いました。

問合せ

地域局総務企画課

☎73・2112



18歳以下部門【最優秀賞】
着いたあー！
／ 渋谷匡太(潟上市)



一般部門【最優秀賞】
秋空の楓景／菊池 豊(能代市)



● 一般部門

【優秀賞】

○ 夫婦杉を彩る

／ 坂本 誠(能代市)

【入賞】

○ 親子でカランカラン

／ 佐藤蒼馬(北秋田市)

○ 初秋のきみまち映す米代川

／ 佐藤育昌(能代市)

○ きみまち阪ライトアップ

／ 成田孝行(能代市)

○ 満開だあー

／ 原田 司(秋田市)

○ 秋空の下で流しの舞

／ 山田康広(能代市)

● 18歳以下部門

【入賞】

○ 赤もみじの散歩道

／ 工藤友絵(北秋田市)

● 高橋大樹審査員長

(二ツ井きみまち商店会会長)

講評

一般部門最優秀賞を受賞した作品は、カエデの赤と空の青とのインパクトのあるコントラストが目を引き付け、米代川と七座山が生み出す迫力の景色、七座山を越えようとする霧を取めた、秋の二ツ井町を象徴するような作品となっています。

18歳以下部門最優秀賞の作品は、大好評のカヌー体験の様子を取めた作品で、ゆつたりと川面を漂う姿は、カヌーに乗ってみたいと思わせる、楽しさが伝わるような作品でした。

審査会では二ツ井地域商工観光関係者のほか、能代市地域おこし協力隊員も加え、地元住民が「見せたい」と思う視点ばかりではなく、二ツ井地域外の方の視線を加え審査を行いました。

今回の入賞作品がコンテストの趣旨である「恋文のまちふたついき」を訪れたいと思っさっかけづくりになることを期待しています。